

こんぴらだより

vol.36 2015

グループホーム こんぴら

行事報告

サンライズ こんぴら

行事報告

利口げな話

特集:「へえ〜っ、そうなんだ!?
〜昔の人はすごい!!〜」 第30回

取り組み: 認知症サポーター養成講座

編集後記

関連機関

特集

へえ〜っ、そうなんだ!?
〜昔の人はすごい!!〜

第30回



! 換気扇のしつこい油汚れは小麦粉で取る

換気扇の汚れのほとんどはベドベドの油汚れで、掃除も大変。そこで、フライ等で残った小麦粉を使います。まず新聞紙の上に外した換気扇を置き、まんべんなく小麦粉を振りかけます。そのまま2〜3時間放置すると小麦粉が油を吸い取ってくれます。あとは雑巾で拭きとるだけ。小麦粉と一緒に油汚れがおもしろいように取れます。



! 生ごみの臭いを消すには新聞紙を重ねて敷く

生ごみをいれるポリ袋の底に新聞紙を4〜5枚重ねておき、その上にゴミを入れるようにしてみてください。生ごみの臭いの元は水分ですので、新聞紙がその水分を吸収してくれます。それだけでも十分臭いが消えますが、それでも気になるようなら酢をまいておくと、ほぼ完全に臭いが消えます。

*昔から、「おばあちゃんの知恵」といわれているものは、長年の経験に基づいた先人たちの知恵の凝縮です。わたしたちも入居者の皆様から、たくさんの「へえ〜っ、そうなんだ!?!知らなかった〜!昔の人はすごいなあ〜」と、実感できるアイデアを日々、教わっています。

(参考文献:宝島社 おばあちゃんの知恵袋 決定版 生活のコツ700 編集/佐藤倫子)

編集後記

やさしい日差しにホッとする今日この頃、待ちに待った春がやってきました。寒い間は外に出るのが億劫でつつい自宅にこもりがちになっていましたが、暖かくなれば心も体ものびのびしてくるのではないのでしょうか。外に出て運動をしたり、人に会っておしゃべりするなどして元気に過ごしましょう。

グループホーム こんぴら・サンライズ こんぴら 広報誌「こんぴらだより」第36号

発行元: グループホーム こんぴら・サンライズ こんぴら 編集者: こんぴらだより発行部

住所: 〒766-0002 仲多度郡琴平町167 TEL:0877-73-0811 FAX:0877-73-0812

ホームページ <http://www.eisei-hp.or.jp/> (永生病院のホームページよりお進みください)

eメールでのお問い合わせは keiryokai@eisei-hp.or.jp

発行年月日:平成27年4月1日



支援医療機関・介護保険事業所



永生病院

〒769-0311
仲多度郡まんのう町買田221-3
Tel 0877-73-3300



森内科 (グループホーム こんぴら 建物の1階)

〒766-0002 仲多度郡琴平町167
Tel 0877-73-4188

グループホーム こんぴら

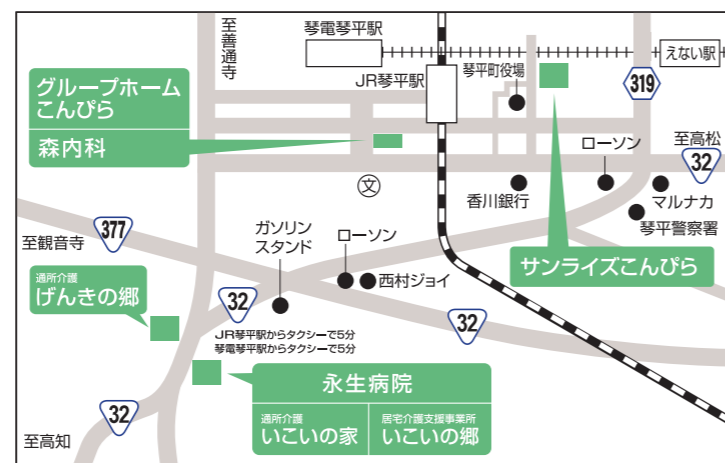
Tel 0877-73-0811



サンライズ こんぴら

(小規模多機能型居宅介護)
〒766-0004
仲多度郡琴平町榎井字池田451番地1
Tel 0877-58-8600

- いこいの郷 (居宅介護支援事業所) Tel 0877-73-3655
- いこいの家 (通所介護) Tel 0877-73-3718
- げんきの郷 (通所介護) 〒769-0311 仲多度郡まんのう町買田102-1 Tel 0877-58-8811



KEIRYOKAI
produced by
医療法人 圭良会

グループホームこんぴら Group Home Konpira

●基本理念

家庭的温かさ・個人の尊厳を大切に、豊かな生きがいのある共同生活が送られるよう、家族の一員としての介護支援を行います

●基本方針

- 1.家庭的で安全な療養環境を提供します
- 2.24時間家族の一員がそばにいる安心感がもてるよう介護支援を行います
- 3.自分らしさを尊重した生活が送られるよう入居者の健康増進を図り個別性のある介護支援を行います

～散歩～

グループホームこんぴらでは、できる限り毎日外出できるよう支援を行っています。周辺の商店街を歩くと、町内の方や入居者様の友人の方々が声を掛けてくれたりもします。入居者様も「あの人は昔からの馴染みでなー」「外の空気を吸うのは気持ちがええな」と楽しそうに話してくれます。住み慣れた地域と環境で過ごせている事を実感して頂けているように感じます。

また、外出することは閉じこもりを防ぎ、身体機能や認知機能の低下予防に効果があるとされています。これからも入居者様にイキイキと生活してもらえるように積極的に外出支援を行っていききたいと思います。



～琴平町社会福祉協議会「えんがわクラブ」との交流会～

一ヶ月ごとに社会福祉協議会と当ホームで開催場所を変えながら、交流会を行っています。双方で色々と思いを凝らしながら、フラダンスを踊ったり、ゲームを楽しんだり歌を唄ったりしています。最近では、貼り絵やたこ焼き器を使ったおやつ作りをしました。たこ焼き器でベビーカステラを焼くのはなかなか難しかったですが、「おいしいな～」と好評でした。



～お花見～

季節ごとの花を見て、より季節感を味わっていただきたいと、色々な所に出掛けています。今年も、入居者様数人ずつに別れて当ホーム近くの梅の名所を見に行きました。入居者様は、「梅の花は心を癒してくれるな～」と言われており、笑顔で楽しまれておりました。



取り組み 認知症サポーター養成講座

グループホームこんぴらとサンライズこんぴらでは、琴平町地域包括支援センターの要請で、認知症サポーター養成講座に講師として参加しています。主に「認知症の方への接し方」について担当し、実際にあった事例や認知症の方に接する時のコツ等を職員がロールプレイを交えながら講義を行っています。

まだ認知症については多くの誤解や偏見があると言われています。認知症について、できるだけ多くの方に知って頂くことで、認知症の方が住みやすい街になるよう少しでもお手伝いできればと思っています。

サンライズこんぴら Sunrise Konpira

●基本理念

住み慣れた地域の中で、その人らしく暮らし続けられるよう、在宅生活の支援を行います

●基本方針

- 1.通い泊まり・訪問のサービスを、随時組み合わせた介護支援を行います
- 2.地域の中での関係を大切に継続するとともに、個性を尊重した支援を行います
- 3.365日24時間切れ目のない安心した在宅生活が送れるような支援を目指します



～地域運営推進会議～

サンライズでは2ヶ月に1回、地域運営推進会議を行っています。今回は認知症についての勉強会を行いました。実際にサンライズであった事例をもとに対応の仕方等を報告しました。参加された方も認知症について興味をもたれているようで、「よく分かった」などの意見を頂きました。

～外出～

サンライズでは日々、様々な所に外出をしています。買い物に行ったり、花を見に行ったり、月に1回は利用者様の希望されるところに外食に行ったりしています。外出は近所だけでなく遠出をする事もあり、「初めて来た」と喜ばれています。

また、暖かい日は庭に出て散歩をしたり庭の花を見る事もあります。外でお茶を飲むとまた格別おいしく感じられ、話にも花が咲いていました。外に出ることで気分転換を図っていききたいと思います。



利口げな話

認知症や介護について、分かりやすく説明したいと思います。



第9回 認知症の症状の特徴とその対応～お年寄りの世界を理解する～

認知症の記憶障害は、最近の記憶・行動全体を忘れてしまいます。そのため何度も同じ事を繰り返し質問したり、食事をした事を忘れ「まだ食べてない」「飢え死にさせるつもりか」などと言ったりする事もあります。これは食事をしたという行為自体を忘れてしまうため、こういった表現をしてしまうのです。そんな時は「食べたでしょう!」と言って抑えるのではなく、「これから食べましょうね」というような接し方をするほうが良いでしょう。

その他にも、最近の記憶は抜けてしまうのに、昔の記憶は残っているので、その当時の記憶の世界に意識が戻っているという特徴があります。例えば、会社を退職しているのに背広を着て会社に行こうとしたり、孫がいるにも関わらず自分の子供はまだ小学生だと話したりする事があります。また、夕方ごろになると自宅にいても「家に帰らないといけな」と話すこともあります。こういう場合は一緒に10分ほど散歩に行つて自宅に帰ると「家に帰った」と納得される事があります。また、「今日はもう暗いので、泊まって明日の朝帰りましょう」という形で、上手く本人の話に合わせた対応をするといいでしょう。

(参考文献:認知症のお年寄りへの対応 編集/順天堂大学医学部精神医学講座教授 新井平伊)